

平成 28 年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

青葉台地域ケアプラザ

2 事業報告概要

地域の現状と課題について

当ケアプラザ担当地域（青葉台 1・2 丁目、桜台、若草台、榎が丘）の高齢化率は青葉区の高齢化率に比して高い状態が続き、今後も徐々に上昇していくことが想定されております。そのような中でこれからどのように住民の高齢化に向けて支援を行ない地域に貢献していくのかを模索しながらの 1 年でした。国や横浜市が唱える、「介護状況になることをできるだけ予防」し、「高齢化率の増加が要介護支援やサービス利用の増加に直結しないような取組」に対し、意識をしながら支援を行ってまいりました。

平成 28 年度も、引き続き地域ケアプラザ事業である「地域包括支援センター（総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント・介護予防支援）、地域活動交流」並びに介護保険事業である居宅介護事業所を青葉台地域の中で、地域の方々との関係性を大切にしながら運営し事業展開をしてきました。これらケアプラザ諸事業においては、包括三職種、コーディネーター、ケアマネジャーら支援担当者が丁寧で真摯な対応を行う中で地域の方々に良質なサービスを提供することが求められます。これまでもそうであったように、利用者や地域の方々に、安心を提供するための支援に努め、サービスの提供を行ってまいりました。

ケアプラザの要であり、地域包括支援センターとして重要な業務である「総合相談」は、当該エリアで暮らす当事者本人やご家族からの多岐にわたる相談をお受けしてまいりました。また、青葉台駅の近くという立地から、当該エリアではない方が立ち寄られての相談や、民生委員の方々や、関係機関からの問い合わせ、相談が引き続き多く、各機関との連携の大切さを感じました。また、地域の方々のニーズに応じたケアプラザの自主事業を企画し、毎月発行の広報誌を中心に地域の方々に周知することにより、地域住民の参加促進に繋がっています。

子育て支援の大切さも感じた 1 年でした。青葉台の地において、安心して育児や子育てができ、また家族として豊かな家庭や地域生活を営む際に多様な生活支援事業が行えるよう引き続き企画検討をし、実施につなげていきたいと考えます。

さらに地域で暮らす何らかの不自由さや障害のある人々に対しても、彼らの抱える種々の生活課題の解決や軽減、社会的支援の一役を、合築施設の「障害者地域活動ホームすてっぷ」とともに協働して取り組んでまいりました。

開所から 6 年が経過し、地域の方々から相談や福祉の拠点としての認知度が、さらに高まってきているように感じています。

3 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

開所後6年目を迎え、施設としては一部壁の汚れ、利用頻度の高いホール機材の不具合などが出現してきました。故障や汚れは施設を利用いただく皆さんを不快にします。早急に対応できるものは急ぎ対応し安心安全の確保に努めてまいりました。また、日中活動各部屋、トイレやエレベーター、空調設備、駐車場など支障なく稼働できるよう点検・管理を定期的に行ってまいりました。日常的な清掃美化と衛生管理を欠かさず、快適で清潔な施設環境の維持は引き続き心がけてまいります。障碍のある利用者や、乳幼児を抱えた母子などが頻繁に利用する施設特性をかんがみて、常に安全確保と安心できる施設環境を保持するよう今後も意識してまいります。

イ 効率的な運営への取組について

「地域活動ホームすてっぷ」との複合型施設という特性を踏まえて、運営法人「試行会」本部の指導の元、施設全体としての管理のみならず、ケアプラザ運営に関わる庶務・経理等においても一体的に取り組んでまいりました。

運営に関しては、両施設の各種合同委員会、また管理者による月例ミーティング(月1回)では、情報の共有化と効率的な事業遂行のための課題抽出や対応などを検討しております。両施設共通の施設管理事項(水光熱費、ゴミ廃棄、清掃、防犯、植栽など)の管理維持費と遂行、合同事業(運営協議会・運営委員会、お祭り、広報発行等)の実施などについては、引き続き連携を密に行ってまいりました。

ウ 苦情受付体制について

ケアプラザ利用に際しての相談等を始め諸事業での対応や、従事する職員へのご意見や苦情等、遠慮なくお伝え頂けるよう「受付担当と責任者による苦情受付体制」を継続して実施してまいりました。また、年1回実施される「ケアプラザ利用者アンケート」の結果から、ケアプラザ各部門や諸事業の進め方、職員の対応などを振り返り、点検から必要な改善へと反映させ、情報の共有化をはかりました。

利用者や来所者である地域住民の人々にとって、たとえ簡易な情報入手や相談であっても、いつでも好印象で信頼感のある対応や接遇を行い、そして何よりも地域に役立つケアプラザを目指していることを全職員が忘れないよう、職員間の報告・伝達を怠らず対応に務めてまいりました。

引き続きすぐに行動することも忘れず、対応してまいりたいと考えます。

エ 緊急時(防犯・防災・その他)の体制及び対応について

「消防計画」に基づき、地震や火災等有事に備えるとともに、「地域活動ホームすてっぷ」とともに、合同避難訓練を年2回実施しました。

横浜市より委託されている「特別避難場所」としての機能については、備えるべき災害時応急備蓄物資も必要数整備が完了し、常時利用できるよう場所等の確認と職員らへの周知徹底を図っています。また豪雨や豪雪時など天災時における住民への利用情報や開館の可否等広報・掲示についても。これまでの経験を活かしながら、連絡等をスムーズに行ってまいりました。

オ 事故防止への取組について

ケアプラザ地域交流部門事業の「貸館」や「各種企画事業」、地域包括センターでの介護予防事業等実施時に発生した事故やヒヤリハットについては、今年度も全職員が必ず月例職員会議に「ヒヤリハット報告書」を作成・提出し、原因究明および再発防止に務めてまいりました。また、これら報告書は、合築施設の「地域活動ホームすてっぷ」と合同の《リスクマネジメント委員会》において報告を図り、さらなる問題の共有化と再発防止の周知へとつなげてまいりました。

地域ケアプラザ利用者の多くが高年齢であることから、些細なことでも思わぬけが（転倒での擦り傷）や体調管理の不備等が入院加療などへの契機となることも想定される中、個々の利用者の状況をしっかりと理解し、日常的に利用者等の顔色等全身状態への目配り、事業実施時の観察などを怠らないよう留意してまいりました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報保護については、今年度も引き続き法人の「個人情報保護規定」に基づきしっかりと法令順守に努めてまいりました。

まずは、年度当初の月例職員会議時にケアプラザ全職員を対象に「個人情報取り扱い」に関する研修を実施し、相談業務や貸館利用登録等での各種必要書式、介護保険事業実施での種々の文書など、ケアプラザには紙や電子媒体による多くの個人情報が溢れていることを確認・認識いたしました。書類一つにしても情報漏えいの要因となり得ることを理解して、「個人情報の保護」の意識化と日常的な配慮を欠かさぬよう取り組んでまいりました。

キ 情報公開への取組について

ケアプラザについての情報公開手法として、月刊紙「あおば Dai ナミック」の毎月発刊をしました。館内掲示のみならず、地域自治会の協力を頂き、町会回覧板を活用しての個々人宅への情報提供も行ってまいりました。

併せて法人本部監修の「試行会ホームページ」でのケアプラザ紹介と、ケアプラザ「ブログ」へのリンクを行い、定期管理を図りながら電子媒体による情報公開を充実させたいと試みを重ねてまいりました。

ク 人権啓発への取組について

昨年度は社会福祉法人試行会が設立20周年を迎えました。20年の間に事業規模も職員数も拡大してきました。法人内の取り組みとして、法人立ち上げの経緯や理念、福祉事業に携わる職員の資質等、試行会としての原点を、改めて法人全事業所、全職員で確認する取り組みを実施してまいりました。

また、福祉を必要とする方々と支援を行う私たちの関係が、支援を受ける側が下、支援を提供する側が上というような上下関係にならないよう、職員の人権意識の向上のため日々の業務や会議の中で振り返り、確認作業を継続してまいりました。

地域への人権啓発の根幹には職員の人権意識の高さがあるという視点を持ち、必要な研修等の活用も行ってまいりました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

緑豊かな周囲環境との調和を図るべく、「すてっぷ」職員と共に建物周囲の緑化維持、ゴミ等清掃管理を継続してまいりました。1階駐車場エリアの園庭では「地域活動ホームすてっぷ」利用者による日中活動の一環としての植栽管理等を昨年同様継続し担当して頂きました。

ケアプラザのみならず地域活動ホームと合同で、業務等でのゴミ分別や排気量の削減、また室内外の節電などにも努めてまいりました。

4 介護保険事業

(1) 介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 看護師	1名	(常勤兼務)
社会福祉士	1名	(常勤兼務)
主任ケアマネジャー	1名	(常勤兼務)
介護予防プランナー	4名	(非常勤専従4名)

《目標》

要支援の認定を受けている地域の方が、住み慣れた場所で自立した生活を安心して送れる様に必要な支援を計画します。利用者の状況に応じて介護保険外の社会資源の活用や地域の関係機関との連携を図ります。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 地域包括会議を週1回開催し、新規及び状況変化のある利用者の情報や支援方針の検討を行う事で職員同士が利用者についての情報共有を図り、担当職員不在時でも対応ができるように努めました。
- 居宅介護支援事業者へ委託した場合でも可能な限り、介護予防支援の契約やサービス担当者会議への出席等を行います。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
202	202	198	200	200	201
10月	11月	12月	1月	2月	3月
204	202	202	201	210	212

(2) 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者	(主任) 介護支援専門員	常勤兼務	1名
介護支援専門員		常勤専従	3名
		常勤兼務	1名

《目標》

職員体制が6月から4名となり、特定事業所としての体制強化を図り、地域の方が望む生活を実現するための役割を果たすべく努めて参りました。

- 1) 地域包括ケアに基づいた関係づくり、高度な医療連携に重点を置いたケアマネジメントを心がけました。
- 2) 多様なニーズを持つ「生活者」として暮らすことの視点を大切に、身体状況の改善や生活のしやすさを共に考え、医療・看護・介護・リハビリテーション等との連携を強化するよう努力しました。
- 3) 利用者・家族へのアンケートを実施し、業務に生かすことでよりよいケアマネジメントと専門性の向上に努めて参りました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

サービス提供地域を越えて提供することはありませんでした

《その他（特徴的な取組、PR等）》

☆特定事業所として質の高いサービス提供ができるよう、介護支援専門員の研修に積極的に参加しました。

☆行政や地域包括支援センターと連携し、課題解決に努めました。

☆個人情報の保護に力を入れ、法令を遵守しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
88	88	88	88	95	98
10月	11月	12月	1月	2月	3月
104	105	106	110	113	113

(3) 通所介護事業

《提供するサービス内容》

●

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1） 円

（要介護2） 円

（要介護3） 円

（要介護4） 円

（要介護5） 円

● 食費負担 円

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

(4) 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

●

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1） 円

（要支援2） 円

● 食費負担 円

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

5 地域ケアプラザ

ア 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

地域では障害のある子と同居する高齢者世帯も多く、障害当事者の親の介護等、地域が抱える問題も複雑化しています。青葉台地域ケアプラザは、地域活動ホームすてっぷと併設している強みを生かしながら、相談に対応しました。

また、高齢者の相談のみならず、関係機関、行政、医療等との連携の中で、地域の様々な相談やニーズに対応できるように、取り組みました。

イ 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

開所から6年目を迎える今年度は、今まで実施してきた事業や活動をベースに、多様な地域住民を対象に、暮らしや生活での諸課題を元に各種諸事業を計画・立案・実施しました。具体的には、高齢者のみならず広く地域住民各層に対して、子育て支援、高齢者の健康増進・余暇支援、多世代共通の趣味活動などを企画開催しました。また、高齢者自身による余暇や趣味活動など自主活動への支援では、潜在的な要支援者への発見や早期対応、地域福祉保健活動及びボランティア等従事者への契機として、包括支援センターと地域交流と連携を図りながら事業を展開しました。活発な住民活動を推進し、地域特性を活かした新たな事業や福祉保健活動の発展へと繋げました。一般高齢者への健康の維持や、老化予防、「その人らしい終末期」の迎え方など様々な情報や先駆的事例や事業などについても情報提供や発信を行いました。

併せて、今年度から配置となった生活支援コーディネーターも上述の活動や事業に参画し、地域の実情を把握し、住み慣れた地域で暮らし続けるための支援の一助となるように取り組みました。

ウ 職員体制・育成

今年度より配置になる生活支援コーディネーターの採用に関し配置転換と多職種の採用により年度途中ではありましたが、配置できました。

また、今後増加が予想される要支援高齢者への地域包括支援センター介護予防マネジメント従事者の確保が課題として挙げておりましたが、引き続き継続して職員確保に努めております。併設の居宅介護支援事業所では、存在の周知に伴い依頼数も増えてきており、ケアマネジャーの1人増員もはかれサービスの充実に努めてまいりました。限られた人数での安定した事業所運営とともに、増えていくニーズに対して対応していく体制を築いていきます。

各部門の職員に対しては、引き続き各職務での専門性の保持と、良質なサービス提供が常にできるよう、必要な知見やスキル等学びの機会を用意してまいりました。具体的には、個々の職員が自己の業務について振り返り、必要な研修計画作成に基づき、外部研修などへの参加を行ってまいりました。

更なる育成プログラムを今後も検討してまいりたいと考えております。

エ 地域福祉のネットワーク構築

相談や支援活動から把握した要支援高齢者の存在や、また地域ケア会議等で確認された地域全体としての課題や実態は、介護・福祉等サービスの調整・連携を通じて、医療・介護・福祉等関係機関・事業所等と共有することで地域福祉のネットワーク構築に役立て、連携を強化しています。

「支えあいネットワーク」では、さつきが丘地域ケアプラザとともに、地域交流、包括支援センターが連携しながら、更なる発展や強化に努めました。

オ 区行政との協働

今年度より「第3期地域福祉保健計画（青葉かがやく生き生きプラン）」がスタートします。青葉区の地域ニーズを元に作成された地域福祉保健計画の遂行に、区や関係機関と協働、連携しながら、取り組んでいきます。また区づくり事業として誕生した地域の人材育成「あおばバルーンアート隊」の自主独立支援、横浜市介護予防施策モデル事業「元気づくりステーション：ノルディックウオーキング・あおば気功・太極拳クラブ」の稼働推進と自主化などをしっかりと担っていきます。

また、若い子育て世代が多く居住する地域特性を活かして、子育て支援関連の各種事業も区委託事業（出張ラフール・歯磨き・離乳食）などへの協力もおこなって参ります。

合築施設である「地域活動ホームすてっぷ」が区福祉保健センターと主催する《障害者自立支援協議会》へも、ケアプラザとしての参画をしていきます。

6 地域活動交流部門

ア 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

青葉台地区社協理事会等、地域の会合・催しに積極的に参加し、福祉保健活動等に関する情報収集をしました。

また、貸会場利用団体・自主企画事業参加者等、当施設へお越しになった方と積極的にコミュニケーションを図り、幅広く情報収集しました。

収集した情報は、区社協・関係団体等からの情報とともに整理し、いつでも必要とする個人・団体等へ情報提供いたしました。

イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

当施設の貸会場だけではなく、併設する「あおば地域活動ホームすてっぷ」の貸会場も活用しながら、福祉保健活動団体の活動が活性化するように、積極的に場の提供を通じて支援しました。

また、福祉保健活動団体から当施設への要望等を伺う機会を適宜設け、より一層活発な活動が展開できるような環境づくりに努めました。

ウ 自主企画事業

高齢者関連・子ども関連の他、地域の要望や課題に応じた事業を実施しました。また、事業計画時から福祉保健活動団体へ発展させることを念頭におき、内容等を企画しました。

地域の様々な人的資源等を活用しながら、幅広い分野の事業が企画いたしました。

障害関連に関しては、併設する「あおば地域活動ホームすてっぷ」と連携し、ケアプラザの貸出会場で余暇支援事業等を提供しました。

エ ボランティアの育成及びコーディネート

「さつきが丘地域ケアプラザ」と協働して事務局を担っている「青葉台地区支えあいネットワーク」を通じて、ボランティアの育成及びコーディネートに積極的に取り組みました。

「青葉台地区支えあいネットワーク」では、近隣の高齢者施設等と連携し、地域レベルでの「ボランティア登録システム」を昨年度に立ち上げました。この取り組みを発展させるため地域の「ボランティア」・「ボランティア団体」・「ボランティア希望者」の育成・活動支援に努めました。

7 地域包括支援センター

(1) 総合相談・支援

ア 総合相談

- ① 地域に住む高齢者に関する様々な相談を受け止め、相談内容に即した情報を提供し、適切な機関、制度、サービスにつなげ、継続的に支援しました。高齢者以外の相談については適切な相談機関につなげていきます。
- ② 相談内容に基づき緊急性があるかどうかを判断した上、3職種で専門的継続的支援を行いました。緊急対応が必要な場合は、適切かつ迅速な対応を行いました。
- ③ 支援困難な相談については、区役所や関係機関等と連携し、継続的な支援を行いました。支援が必要となった高齢者には関係者が協働できるよう、地域包括支援ネットワークの構築に努めました。関係行政機関、地域のサービス事業者、関係団体、民生委員などと、ニーズ発見や予防機能を高めることができるように連携を図りました。

イ 地域包括支援ネットワークの構築

- ① 地域の社会資源やインフォーマルサービスの情報を把握し整理しました。関係機関と連絡を取り合う中で、必要な方へ情報提供を行いました。
- ② 民生委員の定例会には毎回参加するなど、関係機関との会合や連絡会には積極的に参加しました。
- ③ 自治会や老人会などが主催する高齢者の集まりに参加し、関係づくり・地域づくりに取り組みました。

ウ 実態把握

- ① 行政資料から担当圏域エリアの必要な情報を収集しました。
- ② 総合相談、関係機関などからの情報収集、地域ケア会議の実践を通して個別・圏域のニーズ、インフォーマルサービス等の把握に努めました。
- ④ 域で行う老人会の集まりに参加し、高齢者の生活状況やニーズを把握しました。
- ⑤

(2) 権利擁護

ア 権利擁護

- ① 地域に住む高齢者が尊厳のある生活を維持し、安心して生活ができるよう専門的及び権利擁護の視点を持って高齢者の支援をしました。
- ③ 域住民への啓発活動として講演会「遺言・相続」、「成年後見・任意後見」、「老人ホームの基礎知識」を行いました。

イ 高齢者虐待

- ① 包括3職種及び区役所と事例を共有し、役割分担や支援方法を検討した上で適切な支援を行いました。必要に応じて本人との面談や関係機関からの聞き取りをしました。
- ② 虐待の防止、早期発見、見守りをしていくために民生委員を対象に寸劇を通した普及啓発を行いました。

ウ 認知症

- ①地域の銀行、郵便局等の職員向けに認知症サポーター養成講座を行い、普及啓発をしました。
- ②認知症専門医を招いて地域住民向けの講演会を行いました。
- ③認知症対応型通所介護施設と共催をして認知症サポーター養成講座を開催しました。今後も協働して認知症の方でも安心して暮らせる地域づくりを目指すことを確認しあいました。
- ④集合住宅において「介護予防教室」を定期的に開催して認知症の理解や早期発見、認知症予防について普及啓発に努めました。

(3) 介護予防マネジメント

ア 介護予防ケアマネジメント力

目標志向型の介護予防ケアマネジメントを行うために、週1回包括会議を開催し、介護予防プラン等の検討を行いました。介護予防プランは、1人で抱え込まないよう職員全員にて共有し情報交換を行いました。可能な限り1人は窓口当番として事業所に待機し、いつでも相談にのれる体制を作りました。

委託事業所とは、家庭訪問を一緒に行い連携を図り、適切なケアマネジメントが出来る様支援しました。サービス担当者会議は、参加しました。

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

ア 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ①地域の老人会等へ可能な限り出席し、地域包括支援センターの役割・介護保険制度・介護予防等の説明を行いました。
- ②11月にはケアマネジャーと障害者関係機関を招いて情報交換を行いました。
- ③青葉台地区民児協定例会へ毎月出席し、情報交換を行いました。また、地域ケアプラザ職員と青葉台地区民児協との交流会を行い、気軽に相談し合える関係作りに努めました。
- ④5月にはケアマネジャーと民生委員との情報交換会を行いました。
- ⑤集合住宅の住民組織と協力をして月4回介護予防教室を行いました。

イ 医療・介護の連携推進支援

- ①9月にケアマネジャーと訪問看護、1月にはケアマネジャーと薬剤師及び訪問看護を招いて事例検討・情報交換を実施して顔の見える関係作りをしました。
- ②エリア内の医療機関に個別訪問や個別相談をして医療・介護の連携を推進しました。
- ③個別ケース地域ケア会議には必ず医療従事者を招いて実施しました。会議に参加することで関係作りができるように配慮しました。

ウ ケアマネジャー支援

- ①事例検討会を年2回行いました。
- ②介護予防支援従事者研修を実施して「自立支援」に資するケアマネジメントが実践できるように支援しました。
- ③区内全地域包括支援センター合同で、ケアマネジャー間の連携支援及びスキルアップを目的にケアマネジャー勉強会の助言者として支援しました。
- ④新人・就労予定ケアマネジャーに対する研修を区内全地域包括支援センターで年2回募集し、役割分担をしながら支援しました。
- ⑤ケアマネジャーからの相談支援やサービス担当者会議出席など、必要に応じて柔軟な支援を行いました。
- ⑥併設の居宅介護支援事業所で受け入れをした介護支援専門員実務研修実習生に対して包括支援センターの役割説明や地域ケア会議の見学などで支援をした。

エ 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ①青葉区介護保険事業者連絡会共催「ねっとわーく青葉」全体会及び地区別会議を各1回開催しました。
- ②地域ケア会議（個別ケース地域ケア会議、包括レベル地域ケア会議）の開催を通じて多職種協働による地域包括支援ネットワーク構築に努めました。

(5) 介護予防事業

ア 介護予防事業

元気づくりステーションとして、あおばだいノルディックウォーキングクラブ、長生き歩くん（健身気功、初級太極拳）の2つの後方支援を継続しました。参加出来る時は、参加者のモチベーションが上がるように一緒に参加しました。

平成29年4月より榎が丘健康体操教室が元気づくりステーションの事業となるように携わってきました。

半年に1度に体力測定を行い、参加者の自己体力の確認が出来る様支援しました。体力測定時には、地域の方にボランティアとして測定に協力してもらいました。

地域で行われている老人会、サロンに参加し介護予防の普及啓発を行いました。

(6) 生活支援体制整備事業

ア 実施したこと

生活支援体制整備事業の周知に努めました。周知先としては、包括担当地域内の自治会・地区社協・民児協・保健活動推進委員会・ヘルスマイト・老人会・商店会・区民利用施設・高齢者のサロン・高齢者の体操教室・高齢者の趣味活動教室・スポーツクラブ・NPO法人・コンビニエンスストア・スーパー・宗教施設等となります。

また、各周知先との「顔の見える関係づくり」にも積極的に取り組み、地域情報や地域課題等の把握に努めました。

ケアプラザ内でも、職員会議の中で生活支援体制整備事業の周知に努め、各職員が把握している地域情報や地域課題等を生活支援コーディネーターが集約し、全ケアプラザ職員が一丸となって生活支援体制整備事業に取り組んでいくことを確認しました。

生活支援体制事業における連携・協議の場の設定については、年度内での設定には至りませんでした。次年度から二つの場が立ち上がることとなりました。

生活支援体制整備事業が始まる前から、地域の老人会や定年退職後の男性グループ等と課題の共有と解決を図る為に協議を重ね、その解決方法の一手段として各団体と共催という形でそれぞれ事業を実施することとなりました。

生活支援体制整備事業が始まった後もこの二つの事業が継続して活動を展開出来るよう後方支援に努めました。

8 その他

集合住宅にお住まいの方同士が顔の見える関係を作ること及び介護予防普及啓発を目的に管理組合・自治会を中心とした住民の方と地域ケアプラザ・関係機関と連携して介護予防教室を定期開催しました。

平成28年度 地域ケアプラザ収支決算書

施設名: 青葉台地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	16,914	21,254	141					4,114
	介護保険収入				7,507	21,630			
	その他	7,033	10,926	0	5,260	620	0	0	0
	雑収入	423	544			355			
	介護予防ケアマネジメント費				5,260				
	繰入金収入	6,610	10,382			265			
	収入合計(A)	23,947	32,180	141	12,767	22,250	0	0	4,114
支出	人件費	11,495	21,974		4,869	19,698			4,897
	事務費	1,101	1,046		4,734	1,973			
	事業費	283	3	141	468	321			12
	管理費	1,628	432						
	その他	10,910	6,945	0	0	1,344	0	0	0
	運営協議会	43							
	修繕費	182							
	消費税	1,732	49						
	協力医謝金		21						
	繰入金支出	8,953	6,875			1,344			
	支出合計(B)	25,417	30,400	141	10,071	23,336	0	0	4,909
	収支 (A) - (B)	-1,470	1,780	0	2,696	-1,086	0	0	-795

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額(委託料)をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
おやじのびのび健康体操	定年退職後の男性	6,160	6,160	0	0	0	6,160
	168人						
	500円/1回(主催団体が直接集金)						
青丹うたの広場	地域住民	1,356	1,356	0	0	0	1,356
	432人						
	100円/1回(主催団体が直接集金)						
あおば 麻雀クラブ (平成27~28年度生)	地域住民	57,160	36,160	21,000	0	29,160	28,000
	244人						
	1200円/12回						
あおば 麻雀クラブ (平成28~29年度生)	地域住民	57,150	11,270	45,880	0	0	57,150
	285人						
	1200円/12回						
楽しく歌おう!	地域住民	0	0	0	0	0	0
	288人						
	500円/1回(講師が直接集金)						
【ミニコンサート】 おやこで楽しむ コンサート	未就園児と保護者	0	0	0	0	0	0
	30人						
	無料						
【ミニコンサート】 なつかしの 名曲コンサート	地域住民	0	0	0	0	0	0
	29人						
	無料						
絵本となかよし	未就園児と保護者	0	0	0	0	0	0
	152人						
	無料						
あおば囲碁クラブ	地域住民	0	0	0	0	0	0
	445人						
	無料						
よいこのリトミック	未就園児と保護者	23,928	13,428	10,500	0	4,298	19,630
	250人						
	100円(1組)/1回						
親子であそぼう!	未就学児と保護者	29,327	18,127	11,200	0	11,037	18,290
	261人						
	100円(1組)/1回						
あおば絵手紙クラブ	地域住民	47,844	17,844	30,000	0	5,844	42,000
	209人						
	1,500円/12回						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
介護者のつどい	地域住民	0	0	0	0	0	0
	38名						
	無料						
認知症について	地域住民	20,000	20,000	0	20,000	0	0
	27名						
	無料						
権利擁護講座	地域住民	0	0	0	0	0	0
	28名						
	無料						
尿漏れ予防 骨盤底筋を鍛えよう	高齢者	14,000	14,000	0	14,000	0	0
	140名						
	100円						
GOGO健康！ 元気つくりステーション	高齢者	90,000	90,000	0	80,000	0	10,000
	61名						
	無料						
インナーマッスルを鍛えて健康寿命 を10年のばす	高齢者	4,000	4,000	0	0	0	4,000
	27名						
	無料						
自分の体力を確認しましょう！	高齢者	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	14名						
	無料						
病院では教えてくれない足と 爪の話	高齢者	4,000	4,000	0	0	0	4,000
	33名						
	無料						
レクレーション吹き矢	高齢者	10,000	10,000	0	0	7,000	3,000
	48名						
	無料						
認知症サポーター養成講座	地域住民	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	150名						
	無料						
園青葉台住宅介護予防教室	地域住民	0	0	0	0	0	0
	340名						
	無料						
健康づくり教室	高齢者	0	0	0	0	0	0
	128名						
	無料						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
あおば気功・太極拳クラブ	地域住民	6,160	6,160	0	0	0	6,160
	236人						
	300円/1回(講師が直接集金)						
あおば男の料理クラブ	男性	75,800	34,307	41,493		69,640	6,160
	128人						
	3,000円/2~3回						
あおばラクラク体操クラブ	地域住民	42,592	11,092	31,500	0	0	42,592
	201人						
	1,500円/12回						
ピアノで脳トレ	地域住民	5,000	2,500	2,500	0	0	5,000
	10人						
	無料						
あおばバルーンアート隊	地域住民	74,300	22,994	51,306	0	70,844	3,456
	226人						
	300円/1回						
ヘルスマイト (青葉台・藤が丘地区) との共催事業	地域住民	0	0	0	0	0	0
	36人						
	無料						
UNO工房 ハンドベルコンサート	地域住民	0	0	0	0	0	0
	67人						
	無料						
フィリア・ジュニア 合唱団コンサート	地域住民	0	0	0	0	0	0
	71人						
	無料						
ブログ	地域住民	0	0	0	0	0	0
	-						
	無料						
第6回 青葉台地域 ケアプラザ・ すてっぷ祭り	地域住民	100,000	100,000	0	0	0	100,000
	550人						
	-						
福祉用具貸出事業	地域住民	0	0	0	0	0	0
	39人						
	無料						
アロマで香る、 虫よけスプレー	小学生	8,196	6,296	1,900		8,196	0
	19人						
	100円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業報告書

青葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おやじのびのび 健康体操	<p>[目的] 退職後の男性が、地域の中でイキイキと過ごせるよう、健康体操を通じてサポートすることを目的としました。</p> <p>[内容] *主催：青葉いろは会 *共催：青葉台地域ケアプラザ 講師指導のもと、男性を対象とした「健康体操教室」を実施しました。</p>	<p>毎月 第1金曜日</p> <p>12回／年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
青丹うたの広場	<p>[目的] 地域の老人会の活動をケアプラザの施設機能を活かして、より魅力ある充実した活動へ昇華させることを目的としました。</p> <p>[内容] *主催：青丹クラブ *共催：青葉台地域ケアプラザ 歌を通じて、60歳以上の地域住民が集える場を創出しました。特定の講師はいませんが、ピアノ伴奏に合わせて、老人会の方が司会進行を務めました。</p>	<p>概ね毎月 不定期</p> <p>11回／年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおば 麻雀クラブ (平成27～28年度生)	<p>[目的] 麻雀を通じ、参加者同士が交流をもち、地域の中で仲間づくりができる場になることを目的としました。</p> <p>[内容] 初心者向けの健康麻雀教室です。地域在住の麻雀経験者が講師を務めてくださいました。</p>	<p>毎月 第3木曜日</p> <p>12回／年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおば 麻雀クラブ (平成28～29年度生)	<p>[目的] 麻雀を通じ、参加者同士が交流をもち、地域の中で仲間づくりができる場になることを目的としました。</p> <p>[内容] 未経験者向けの健康麻雀教室です。地域在住の麻雀経験者が講師を務めてくださいました。</p>	<p>毎月 第1木曜日</p> <p>12回／年</p>

平成28年度 自主事業報告書

青葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
楽しく歌おう！	<p>[目的] 「歌」を通じて、地域住民が集える場を提供することを目的としました。</p> <p>[内容] 講師1名（歌唱指導＋ピアノ伴奏）による歌の会。「童謡」・「唱歌」・「歌謡曲」等を毎回15曲程度歌いました。</p>	<p>奇数月</p> <p>6回／年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【ミニコンサート】 おやこで楽しむコンサート	<p>[目的] 「平成27年度利用者アンケート」で要望のあった「ミニコンサートの実施」に応えることを目的としました。</p> <p>[内容] 「鍵盤ハーモニカ」による「ミニコンサート」。「童謡」・「アニメ曲」等、お子様向けの楽曲を演奏。</p>	<p>1回／年</p> <p>4/2(土)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【ミニコンサート】 なつかしの名曲コンサート	<p>[目的] 「平成27年度利用者アンケート」で要望のあった「ミニコンサートの実施」に応えることを目的としました。</p> <p>[内容] 「鍵盤ハーモニカ」による「ミニコンサート」。「昭和歌謡曲」・「映画音楽」等、高齢者向けの楽曲を演奏。</p>	<p>1回／年</p> <p>4/2(土)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵本となかよし	<p>[目的] 未就学児を対象とした事業を通じ、お母さん同士の交流を図り、地域の中での子育てを支援することを目的としました。</p> <p>[内容] 地域で絵本の読み聞かせを行っているボランティアグループにご出演いただき、「絵本の読み聞かせ」・「パネルシアター」・「手遊び」等を実施しました。</p>	<p>不定期</p> <p>6回／年</p>

平成28年度 自主事業報告書

青葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症について 講義・予防	<p>[目的] 地域住民に、認知症の理解と予防の知識を深めて頂き、認知症予防の普及啓発を行いました。</p> <p>[内容] 認知症専門医（クリニック医庵たまプラザ 院長先生）による講演会を行いました。</p>	9月21日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
尿漏れ予防 骨 盤底筋鍛えよう	<p>[目的] 尿漏れの原因の一つである骨盤底筋の緩みについての理解をし、骨盤底筋を鍛えることで尿漏れ予防を行いました。</p> <p>[内容] 講師指導のもと、骨盤底筋を鍛える体操を実施しました。</p>	4月～ 毎月第1火曜日 10回/年 (11月・1月無)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
インナーマッスルを鍛えて健康 寿命を10年の ばす	<p>[目的] 高齢者自身の生活の質の向上のため体力を維持する体操や運動を紹介し、健康長寿を目指していけるようサポートを行いました。</p> <p>[内容] 介護予防の講義、ロコモ体操を含む運動等講師の指導のもと、身体を実際に動かしました。</p>	9月7日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自分の体力確認 しましょう！	<p>[目的] 高齢者が客観的に自信の体力を把握できる機会を提供することを目的として行いました。</p> <p>[内容] 65歳以上の人を対象とし、身長、体重、血圧、握力、長座位体前屈、開眼片脚立ち、ファンクショナルリーチ、10M最大歩行速度、Time up & go の測定を行いました。今年度より、ロコモ度チェックも行いました。</p>	9月28日

平成28年度 自主事業報告書

青葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
病院では教えてくれない足と爪の話	<p>[目的] フットケアの重要性を高年齢者自身が理解して、日常のフットケアが出来る様になりました。</p> <p>[内容] 形成外科医を招いて、講義及びストレッチの指導等を聞き実際にストレッチを行いました。</p>	6月16日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レクリエーション 吹き矢	<p>[目的] 実際に吹き矢を行う事で、口輪筋の強化と腹式呼吸の運動訓練になります。楽しみながら、口腔ケア、腹式呼吸を行いました。</p> <p>[内容] 地域の高年齢者に周知しケアプラザにてレクリエーション吹き矢を行いました。チーム対抗戦にて、仲間を応援し楽しみながら行いました。</p>	6月1日 8月31日 12月1日 2月2日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>[目的] 地域の集会所等を借りて、「認知症」についての正しい理解を促し、「認知症」への予防や受診などの対応、地域での見守りや支え合い、対象者への適切な援助や支援をすることができるよう必要な基本的知識や対応を学び、地域での【認知症サポーター】としての人材育成を行いました。</p> <p>[内容] 認知症サポーター養成講座を行い、受講者にはオレンジリングを渡しました。</p>	6月8日 9月20日 12月18日 1月30日 3月8日、14日 3月23日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO健康！ 元気づくり教室	<p>[目的] 『元気なうちから介護予防！』をテーマに高年齢者の方がより元気で自分らしく生活して頂けるように介護予防に取り組みます。</p> <p>[内容] 1回目・高年齢期の健康づくり・ロコ脳体操 2回目・低栄養予防・ロコ脳体操 3回目・口腔ケア・ロコ脳体操 4回目・ロコ脳体操・まとめ</p>	4月14日 6月9日 7月14日 9月8日 11月10日 12月8日 1月12日 2月9日

平成28年度 自主事業報告書

青葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康づくり教室	<p>[目的] 榎が丘に住んでいる方たちが、地域での交流の機会を多く持てるように、榎が丘の自治会等と協力して実施する。</p> <p>[内容] 健康づくりを目的とした体操や茶話会を行いました。</p>	<p>6月15日 7月20日 10月19日 11月1日 12月8日 1月18日 2・3月は月2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>[目的] 介護をされている方たちが介護の大変さを分かち合い、介護の知識や情報を共有できる場とします。介護の知識を学びたい方には将来の備え又は地域の方たちへの見守り等に役立てていただきました。また、認知症や介護の知識を得ることで高齢者虐待防止や早期発見の普及啓発の場としました。参加される方には地域包括支援センターが地域の身近な相談窓口であることを周知しました。</p> <p>[内容] ①介護の基礎知識①「高齢者の多くが処方される薬」 ②在宅生活を続けるために ③介護の基礎知識②「安全な移乗介護を学ぼう」 ④認知症について</p>	<p>5月25日 7月30日 10月26日 1月25日</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護講座	<p>[目的] 高齢者の権利擁護に関する情報を提供し、安心して老後生活を送るための普及啓発を行いました。また、高齢者虐待防止や早期発見の普及啓発の場として、地域ケアプラザが権利擁護に関する地域の身近な相談窓口として周知しました。</p> <p>[内容] ①老人ホームの基礎知識 ②成年後見と任意後見 ③遺言・相続</p>	<p>1月31日 2月21日 2月27日</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
田園青葉台住宅 介護予防教室	<p>[目的] 田園青葉台住宅にお住まいの方同士が顔の見える関係を作ること及び介護予防普及啓発を目的に管理組合・自治会を中心とした住民の方と地域ケアプラザ・関係機関と連携して介護予防教室を定期開催しました。</p> <p>[内容] 認知症予防講座、認知症予防プログラム、寝たきり予防・認知症予防・機能改善を目的としたロコ脳体操、介護予防教室</p>	<p>2～4回/月 合計42回</p>

平成28年度 自主事業報告書

青葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あおば 囲碁クラブ	<p>[目的] 囲碁を通じ、参加者同士が交流をもち、地域の中で仲間づくりができる場になることを目的とします。</p> <p>[内容] 初心者～中級者を対象とした囲碁対局ができる場を提供します。</p>	毎月 第1・3土曜日 24回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よいこの リトミック	<p>[目的] 未就園児を対象とした事業を通じ、お母さん同士の交流を図り、地域の中での子育てを支援することを目的とします。</p> <p>[内容] 地域在住の講師を招き、お母さんも一緒に楽しめる「リトミック」になるよう努めます。</p>	偶数月 6回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で あそぼう！	<p>[目的] 未就園児を対象とした事業を通じ、お母さん同士の交流を図り、地域の中での子育てを支援することを目的とします。</p> <p>[内容] 講師指導のもと、親子で楽しく遊べる「手遊び」・「わらべうた」・「季節の歌」・「折紙」・「絵本」・「ダンス」・「パネルシアター」等を行います。</p>	概ね奇数月 6回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおば 絵手紙クラブ	<p>[目的] 絵手紙を通じ、参加者同士が交流をもち、地域の中で仲間づくりができる場になることを目的とします。</p> <p>[内容] 講師指導のもと、初心者むけ「絵手紙教室」を実施します。</p>	毎月 第1火曜日 12回／年

平成28年度 自主事業報告書

青葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あおば 気功・太極拳 クラブ	<p>[目的] 気功・太極拳を通じ、参加者同士が交流をもち、地域の中で仲間づくりができる場になることを目的としました。</p> <p>[内容] ゆっくりとした太極拳の動きで足腰とバランス感覚等を鍛え、転倒防止や脳の活性化を図りました。</p>	<p>毎月 第2水曜日</p> <p>12回／年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおば男の 料理クラブ	<p>[目的] 料理を通じ、地域住民男性が交流をもち、地域の中で仲間づくりができる場になることを目的としました。</p> <p>[内容] 参加者主体の料理クラブです。特定の講師はいません。「地域のボランティア」と「ケアプラザ職員」で調理活動をバックアップしました。</p>	<p>毎月 * 第4水曜日 ※打合せ・買い物 * 第4木曜日 ※打合せ・調理</p> <p>22回／年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおば ラクラク 体操クラブ	<p>[目的] 高齢者の「運動機能の向上」及び「閉じこもり予防」の為の機会を提供することを目的としました。</p> <p>[内容] 講師指導のもと、極端に早い動きや遅い動きを伴う運動は行わず、椅子に座ったまま気軽に参加することができる軽めの体操を実施しました。</p>	<p>毎月 第3金曜日</p> <p>12回／年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ピアノで 脳トレ	<p>[目的] 認知症予防に効果が期待出来る「鍵盤楽器」に親しんでいただくことを目的としました。</p> <p>[内容] 「小型キーボード」を使った「脳トレ」講座。演奏の技術向上よりも、演奏の楽しさを感じながら、脳をより活性化させるようなプログラムとなりました。</p>	<p>不定期</p> <p>1回／年</p>

平成28年度 自主事業報告書

青葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あおば バルーン アート隊	<p>[目的] バルーンアートを通じて、地域のお祭りやイベント等にボランティアとして参加できる人材を育成することを目的としました。</p> <p>[内容] 「新地域人応援講座」に参加されていた方々の受皿となる活動です。基本的には「バルーンアート」の自主勉強会です。地域のお祭りやイベント等からボランティアとして、協力依頼があった場合は、随時対応しました(12回/年)。</p>	<p>毎月 第3火曜日</p> <p>12回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヘルスマイト <small>(青葉台・藤が丘地区)</small> との共催事業	<p>[目的] 地域で活動する「ヘルスマイト」を支援することを目的としました。</p> <p>[内容] 食を通じて、地域支援に繋がる講座を行いました。 ①ゆたかな食事で健康長寿 ②生涯骨太クッキング</p>	<p>①12月2日(金) ②2月1日(水)</p> <p>2回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
UNO工房 ハンドベル コンサート	<p>[目的] 障害者及びその保護者の活動を支援することを目的としました。</p> <p>[内容] *主催：UNO工房家族会 *共催：青葉台地域ケアプラザ 演奏者を招き、「ハンドベルコンサート」・「ハンドベル体験」・「交流会」等を行いました。</p>	<p>5月14日(土)</p> <p>1回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
広報誌	<p>[目的] ケアプラザの施設機能と当施設の情報を地域住民の方々へ周知する事を目的としました。</p> <p>[内容] ケアプラザの自主事業等の情報を記事として掲載した広報誌を定期的に発行しました。 ※名称：「あおばD a i ナミック！」</p>	<p>毎月 第4土曜日発行</p> <p>12回/年</p>

平成28年度 自主事業報告書

青葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ブログ	<p>[目的] 広報誌を補完して、ケアプラザの施設機能と当施設の情報を地域住民の方々へ周知する事を目的としました。</p> <p>[内容] 「広報誌」・「事業チラシ」・「お知らせ」等をネット上で随時確認いただけるようにしました。 ※http://ameblo.jp/aoba-dai-namic/</p>	随時更新

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第6回 青葉台地域 ケアプラザ・ すてっぷ祭り	<p>[目的] お祭りを通じ、施設の存在と施設機能を地域住民に周知することを目的としました。</p> <p>[内容] 併設する「あおば地域活動ホームすてっぷ」と共催し、地域の福祉保健団体や地域住民の方々にも携わっていただきながら、子供から高齢者まで誰もが楽しめるお祭りになるよう努めました。</p>	11月12日（土） 1回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉用具 貸出事業	<p>[目的] 「介護用品を一時的に使いたい」・「購入する前に使用してみたい」という地域の要望に応えることを目的としました。</p> <p>[内容] 「車いす」・「車いす用可搬型スロープ」・「入浴用すべり止めマット」・「ポータブルトイレ」・「食事用自助具」を短期間（目安は3泊4日程度）、無料で貸し出しました。</p>	ケアプラザ 開館日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アロマで香る、 虫よけスプレー	<p>[目的] 地域の人材活用し、当事業の広報等を通じて、近隣小学校との関係づくりを図りました。 普段、CPに来所されない世代に、その施設機能を周知しました。</p> <p>[内容] 講師指導のもと、植物由来の「天然虫よけスプレー」を作りました。</p>	7月22日（金） 1回／年

平成28年度 自主事業報告書

青葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
フィリア・ジュニア 合唱団コンサート	[目的] 近隣の「区民利用施設」への事業協力を目的としました。 [内容] *主催：青葉区民文化センター *共催：青葉台地域ケア プラザ 青葉区の小中学生で結成された「フィリア・ジュニア合唱 団」が地域の方に向けて歌を披露しました。 出演者：フィリア・ジュニア合唱団 ゲスト：キャサリン野村(腹話術)、藤間勘考女(日本舞踊 藤間流)	

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数